名電高新聞

編集兼発行
名電高新聞部
印刷所
共生印刷株式会社

校訓
誠実
勤勉

昭和五十三年を省みて

学校長　後藤　淳

「天馬空を駆ける年」にしたいと年頭の挨拶で申し上げましたが、もう一年が過ぎ去ろうとしています。

この一年をふりかえってみるに、本校の特色を生かしながら先生方と生徒諸君およびPTAの連帯において、六十六年の伝統の歴史に新たに栄ある一年を加えることが出来たと思い、よろこびに堪えません。

学校全体からみれば、本年は工業課程校舎の美装にはじまり、三年計画の学習机も完全に整備され、一段と好ましい学習環境を作り上げることができました。また、多年本校の宿願であり建設を急いでいました御岳「山の家」が完成し、夏休み後半から生徒諸君の利用により、青い空と緑の山と清らかな水との出合いは、従来本校では得られなかったものだけに体育面、情操面、集団意識の面に拡がりをみ、よろこびに堪えません。

尚、昨年から使用をはじめた春日井総合運動場も開設二年目を迎へ、着々整備され、多くの問題を解決して、第二回目の秋季大運動会を成功裏に終了いたしましたことも、記憶に新しいところであります。

生徒諸君の学習面においても、日常の努力によって前年に比して全体的に上昇の気運にあります。一日にして達せられる問題ではありませんので、努力精進の集積を一段づつ積みあげて堅実に、尚一歩前進を希望します。各個人が一段と学習意欲を高め、今年一年をふりかえって、新しい年への構想と決意を樹立されることを希望いたします。

スポーツ学芸の面においても活躍めざましいものがあり、生徒諸君の目標であるインターハイへの出場最多記録を立て、フェンシングの全国優勝をはじめ、長い歴史と伝統をもつ卓球が復調のきざしをみせれば、新興バスケットボールの活躍が対照的でもありました。バスケットボール部は、明年春中国遠征をひかえて、意気あがるものがあります。特筆すべきものに、新チーム結成の野球部が、和による団結を貫いて、大方の評価をはるかに上まわり、愛知大会で優勝を競い、中部大会に駒をすすめたことは、絶讃に値するものであると思います。其の他多くのクラブが、汗と脂と涙の猛練習によって、それぞれの成績をおさめ、明年度飛躍の足がかりを得たことはよろこびに堪えません。

自他共に日本一を自負する吹奏楽部が、全国コンクールにおいて優秀なる成績をおさめたことは、平素の努力の賜であり、敬意を表します。其の他科学・工作・文芸の面においても、高校生らしい活動のなされたことは、高く評価いたしたいと思います。尚、生徒の生活面においても、平素きびしい先生方の指導によって、「名電型」という高い評価をうける生徒像を確立したと思います。憂慮される青少年の非行問題も、激減いたしましたことは、学校全体の醸し出す環境によるところが大なるものであるとしみじみ感じます。生徒指導についてPTAのご協力も、忘れることの出来ないものであります。

こうして考えてみると、本年は年頭に望んだ多くの事柄が実現され、学校、生徒、保護者、三位一体となっての努力精進の結果であり、過ぎゆく昭和五十三年を満ちたりた明るい気持ちで送ると共に、新しい年昭和五十四年に、尚一段の進展をみますよう、きびしい決意を希望いたします。

進学ゼミナール

受験勉強もいよいよ最後の追い込みに掛かって、日夜最善の努力をしていることと思います。年々激化する一方の大学受験でありますが、今年度はそれに加えて、国公立大学共通一次試験が実施される年でもあり、私立大学においても、その影響を強く受けるであろうと思われる。具体的には、受験者数の増加とそれに伴う合格最低点の上昇が挙げられる。既に昨年度においてもその傾向が表われており、各大学ともかなり合格が困難になってきている。これらの諸条件を克服し、来春合格の喜びを得る為めには、強い危機意識による最大限の努力と、適切な志望校、志望学科の選択が必要である。入試科目の問題傾向は、各大学においてそれぞれ異なるので、充分調べておくことは勿論であるが、総体的に各大学とも基礎問題を重視している。各科目の基礎を教科書等を中心にして、もう一度総復習してみる必要があろう。

全国的に大学進学者数が急増している中で、本校においても大学進学を志す生徒が年々増加している。しかしその中には、何ら目的意識を持たず、周囲の強い勧めに流されて、志望している生徒が見受けられる。それらの生徒は学習意欲も薄く、この時期に至ってもまるで人ごとのような受験態勢である。どんなことでも言えるが、高い目標を為し遂げるには、それに伴う努力が必要である。大学進学を目指す以上、必死の学習は当然である。一、二年生の中で大学進学を志望している生徒は、現在の大学受験状況をよく考慮して、自分の為めの勉強に今すぐ取り掛かってほしいと思う。少なくとも一日三―四時間の家庭学習により、基礎学力をしっかり身につけることが大切である。

本校では受験の為めの模擬試験、夏休み中の特別授業等を例年行っているが、今年度は新設された木曽御岳山の家を使用して、進学ゼミナールを開催した。まだ実験的な段階であったので、それほどの成果は期待できなかったが、快適な環境のもとで、一日七―十時間程の学習が消化されていた。より検討計画されれば、来年度以降は何らかの成果が期待できると思う。最後に今年度受験生の全員合格を切に願っております。

校舎改装について

普通科館にひきつづき、本年度七月二十四日から八月三十一日までの夏休み中に、本館外まわりの改装工事が行われました。装いも新たになり、生徒諸君も勉強に励んでもらいたい。尚、来年度には内まわりの改装が行われます。

子守り

教論　太田道治

妻が三日程家をあけることになった。一才に満たない娘を残して出掛けるのがよほど心配らしい。紙に注意事項を書いて渡すだけでは気がすまぬのか、出掛けに、口やかましく、復唱して出て行った。私は子守りぐらいとたかをくっていた。いざとなれば、七十は越しているが、母に頼めばすむものだと思っていた。日頃娘の世話をしたことのない私には思ったより重労働だった。仕事が単調なだけに、疲れの度合が強かった。三日目の夜は娘より先に自分が眠ってしまったらしい。

私は浜辺で砂をかぶって寝ていた。空は青く澄んでいた。秋の海は夏の海のような活気はない、といって冬の荒々しさもない。静かで落着きのある海の香りが吹き渡って来ていた。海は白く輝やいていた。目を閉じると、海が色々の色彩で輝やいてみえた。その時、足もとで何か物が動く気配を感じた。少さな蟹が私の体を登ってきていた。へそのところまで来ると、物珍らしそうに、そばを眺めていた。やがて蟹はへそにかぶさった砂を掘り返し始めた。おかしさと、こそぐったさが全身に走った。目が覚めた。

夢でなかったのか、胸に蟹の走った感覚がまだ残っていた。孫の手のような娘の小さな手が、私の胸の上で、何かを求めて探していた。お目当てのものが見付からず、ぷつぷついっていた。やがて風船かずらの種ほどの私の乳房にふれると勝手がちがうのか、怒り出し、種をつぶすように、私の乳房に爪を立てた。私はじっと痛さをこらえ、くいしばったが、体がだまってはいなかった。体全体が悲鳴をあげて大きく揺れた。娘は驚ろいて目を開けた。とっさに見た男の顔に怯えて大声を張りあげて泣いた。機械仕掛けの人形のように手足を激しく動かした。私は枕元に置いてある乳首を娘の口にほうりこんだ。娘はいやがって何度口に入れても、ぷいとはき出してしまった。手がつけられなくなった。どうしたらいいのか見当がつかなかった。母親の乳房がほしかった。私は娘を胸元に引きよせると、顔を見られないようにそむけ、私の耳たぶをつかませてみた。一時はききめがあったが、すぐ見破られてしまった。私の耳が不作だったのだろう。仕方なく私は娘をおんぶして外へ出た。人に見られて顔が真赤にほてるほど私は未だ若かった。やがて娘はおさまりかけて来たが、今度は夜なきそばの笛の音を聞いて、ひきつるように泣き出した。いつも母親がその笛の音をおどしに使っていたからたまらなかった。私は急いで家に逃げて帰った。おんだまま部屋の中を歩いた。娘は泣き疲れて眠ってしまったのか、落着いた息使いが背中から伝わって来た。そっと布団の上におろすと又泣いた。何度も何度も同じ事を繰り返した。私は立ったまま朝まで頑張ってみようと思ったが、翌日の仕事のことを考えると、それも出来ないことだった。私は母に頼むことに決めた。

母は私が苦しみもがいているのも知らず、熟睡していた。母は眠ったまま娘を受けとると、胸の奥からしなびた乳房を引張り出し娘の顔の上にそれをほおりだした。娘はおどけた猿のような仕草で、母の乳房をつかむと、夢中でそれを吸った。吸っても吸っても出るはずがなかった。それでも泣きぢゃくりながら空乳を吸っていた。その姿を見て、私は生理的に不潔な感じがしないでもなかった。やがて母も娘も何事もなかったように熟睡していた。娘の口元には切り干し大根のような母の乳房がたれさがったままになっていた。私は自分の部屋に娘を連れて帰る自信もなければ、その気にもならなかった。つくづくと母の顔を見た。色々の想いが私の頭の中を走った。母の顔の上に死んだ父の顔が二重うつしになって見えて来た。

「道治、男は結局子守りは出来やしないよ。米びつがないからな」淋しそうな顔をして言った父の顔が浮んだ。とその時キンチャクをつぼめたような母の口元から、かすかに微笑がこぼれたような気がした。

生徒会の活動について

生徒会執行部

本年度前期生徒会が決定したのは例年通り、新入生歓迎大会を盛大に挙行したことは本校の規約により、五月初めに新役員が選出されるからである。前期役員が選出されてから、先づ我々は常任委員会の組織の決定を議会で決め、風紀、交通、厚生、文化、クラブ、等の委員長のもとで各委員会の活動方針を決定し、その実施活動に入った。毎日、朝、放課時の交通当番を担当する交通常任委員会の活動から、各常任委員会の活動を実施している。各常任委員会が、担当の指導先生のもとに、どう向上させるべきかを考え、それぞれに活動をしている現状である。そして、第一学期を終えた。

第二学期の初め、最大行事である学校祭、運動会の計画、立案にとりかかった。例年より、一歩前進をテーマに、学校祭では、講演会、映画会、音楽会を実施し、生徒出演では、落語、フォーク・ロックコンサート、ラジコン競技会（工作部主催）、お化け屋敷等多彩な催しを実施することができた。又、各文化クラブの展示も写真部の意欲的な創作をはじめ、絵画のマンガ創作の初出版計画、工作部の向上的努力、これらは成果として評価すべきだと我々執行部は考えている。文化クラブに対して、運動部は十七の各クラブの戦歴等の展示を行ない、我校の生徒の努力、指導先生の努力を優勝旗、カップ類、楯等からそのすばらしい成果を見る思いがした。その他、工科展、理科展、生徒出品作品等、見るべきものがあったと考えられる。ただ、来年の為めにもここで全校生徒で考えなければならない問題がある。それは年々、生徒出品の作品が少なくなっているという現状についてである。我々執行部は、何故出品作品が少なくなっているのかということについて反省と同時に全校諸君に考えてもらいたいと考えている。

学校祭について、現状についてマンネリ化し、意欲に欠けるのか、又は我々生徒に年々無気力化した意欲のなさにもとづいた怠慢なのか、今後について考える時我々は、先生方を含めて、考えなくてはならないと考える。それと同時に、全体のなかで、学校祭に携わる生徒が少ないという現状も来年の為めにも、「どうしたらよいのか」を考察することも必要であろう。ここに問題提起することが、より学校祭の向上を、ひいては、我々の日常生活の在り方と含めて大いに向上するための反省としたい。

前期執行部は、大きな行事を終えることができた。

しかし、教室はきたない、廊下は決して美しくはない。自分達が守るべきことを実行できるようになったとき、更に、我々が行動に責任をもつ者が多くなったとき、学校全体がもっともっと、生き生きとしてくることだろうと思う。小さな善行をつみ重ね、更に名電高を発展させようではないか。

論説　覚醒を望んで

生徒の主体性のなさは、今ではもうどうしようもないくらい有名になってしまったようです。こんな事をいくら書いても、主体性のない生徒が目を通すはずはないのだけれども、一応、僕も見ている側として、言いたい事だけは言っておこうと思ったわけです。別に名電高と限られているわけではなく、「現代の学生・生徒にも共通するところがあるのではないか」、と思うのですが、彼らは何故こうまでも自分の意志をはっきりつかめないのでしょうか。

「どうでもいい」とか、「疲れる」などといったものの考え方が、いつの間にか各人の心の底にへばりついてしまっていて、何か自身でやってみようという気力が起きた時、彼らは自分の心の底にへばりついているものを見つめてしまうのではないか。もちろん、そうなってくれば社会に対して、真実に対して目を向けることもなく、惰性で動く一個の物体に変化してしまうわけです。

その原因は色々あるが、例えば、テレビ・ラジオなどの報道機関――これは、スイッチをひねるだけであらゆる情報が出てくるもので、これらの存在は自分から答え求めなくとも向こうから、いやという程たくさんのおしゃべりをしてくれる所の、一方通行の世界なのだと言えるのです。放送局にハガキを出す人もいるけれど、大半の人はこれを聞き流し、時として聴いているのです。これでは、発言することを他人にまかせきりで、自分の意とする所を全く相手に伝えられなくなるわけです。また、タクシーやバスなどの交通機関・ワンパターンな生活様式もそうさせる素因を持っていると言えるのではないか。今更になって、そう思えてくるのです。

しかし、ここで重要な事は、これらの原因をどうのこうのする事ではなくて、各人が目を見開いて考え、その口をもって発言し、行動して欲しいということです。そうして、自己を確立した時に、一つの人格が形成されることになるのです。

名古屋電気学園　御岳「山の家」オープン

御岳をのぞむ「山の家」

皆さんが待ちかねていた御岳山の家が、九月一日からオープンいたしました。

北アルプスの最南端に独り大きくそびえる山、それが木曽御岳です。夏でも寒い……と民謡木曽節に歌われ、古くから信仰の山として知られ、俗界から離れた霊場で、うっそうと茂る桧の林の中に入ると、あの独特な薬草のにおいが漂う。こんな恵まれた環境の四合目あたりに、から松に囲まれた現代的な立派な建物が、二棟肩を寄せ合って建っている。これが名古屋電気学園の山の家であります。

本館一階には一八〇席の大食堂、大浴場、小浴場があり、二階には教職員用四室と学生・生徒用として三十五畳の和室が二室あり、別館には一階二階とも十五畳の和室が各四室あります。

この施設をいつまでも快適に利用して戴くためには次のことをよく理解して利用者心得を守って下さい。

冬期（十一月から翌年三月頃まで）は零下二十度近くなることがあり、この対策として水道管には凍結防止帯を施し、かつ電熱を通じさせてあるので、一ケ所でも不注意な取扱いをすれば、たちまち全館の機能がマヒしてしまうので、暖房器具や電気器具には手をふれないよう注意して下さい。その他は、山の家利用者心得にある注意事項をよく守って下さい。

山の家利用者心得

一、管理人の指示に従うこと。

二、貴重品は管理人に預けること。

三、管理人への申しつけは十時までとする。

四、門限は午後九時までとする。

五、午後十時以降は特に静粛にし、周囲に迷惑をかけないこと。

六、火災予防には特に留意すること。勝手に火気を使用してはならない。暖房具には一切手をふれてはならない。

七、屋外水道管に凍結防止帯が施してあり、そばのコンセントにソケットがさし込んであるが一切手をふれないこと。

八、便所では備えつけの紙を使用し他の物を使わないこと。

ない時は管理人に申し出ること。

九、所定の場所以外にはごみ・汚物を捨てないこと。

十、建物や附属の物品を大切に取扱い、こわしたり汚したり（落書など）しないこと。

十一、ロビー・食堂・浴場便所など共用の場所は特に清潔に利用し、他人に不愉快なおもいをさせないこと。

十二、寝具その他各室の備品は使用後元の場所へもどし、勝手に他へ移動させないこと。又、敷布団には必ずシーツをかけて使用すること。

十三、食事は食堂で定められた時間内にすませ、食器はカウンターまでもどすこと。

十四、鳥獣類を捕獲、殺傷したり、みだりに植物を伐採、採取又は傷つけてはならない。

電気工事士について

教論　亀田　俊明

電気工事士は、不良な電気工事により起こる火災その他の災害を防止するために、昭和三十五年法律第一三九号で公布された「電気工業士法」で定められた電気工事の作業に従事する電気工事技術者の資格で、この資格がないと全般の電気工事作業ができないことになっています。電気工事士試験を受ける人のために、受験上必要な事項を電気工事士法より抜き出して見ますと

一、電気工事士免状の取得

次のいずれかに該当する者に限り都道府県知事から交付されます。

㈠電気工事士試験に合格した者。

㈡通商産業大臣が指定する養成施設において、通商産業省令で定める電気工事士たるに必要な知識および技能に関する課程を修了した者。

㈢通商産業省令で定めるところにより、㈠、㈡に掲げる者と同等以上の知識および技能を有していると都道府県知事が認定した者。

二、電気工事士試験の内容

一般用電気工作物の保安に関して必要な知識および技能について、都道府県知事が行うもので筆記試験と技能試験とに分けられている。

㈠筆記試験

①電気に関する基礎理論

②配電理論および配線設計

③電気機器、配線器具ならびに電気工事用の材料および工具

④電気工事の施行方法

⑤一般用電気工作物の検査方法

⑥配線図

⑦一般用電気工作物の保安に関する法令

⑧鑑別

㈡技能試験

三、筆記試験の免除

次のいずれかに該当する者は、受験願書にその資格を証明する書類を添付して申請すると免除される。

㈠学校教育法による高等学校以上の学校で電気工学の課程を修めて卒業した者。

㈡鉱山保安法による電気保安係員試験に合格した者。

㈢旧自家用電気工作物施設規則により技能認定を受けている者。

㈣電気主任技術者免状を取得している者。

㈤その都道府県の前回の筆記試験に合格した者。

四、受験手続き

試験を受けるには、受験を希望する都道府県庁の窓口に次の受験願書を提出する。

㈠受験願書　用紙は受験しようとする都道府県庁に用意してある。

㈡受験手数料　受験願書提出のとき受験手数料一五〇〇円を現金または都道府県発行の収入証紙によって納付する。

㈢写真　受験願書提出前六カ月以内に上半身脱帽で正面からとった縦8㎝、横6㎝のもので裏面に氏名と撮影年月日を記入する。

五、筆記試験免除を証明する書類　三の㈠の学校卒業の場合は、卒業証明書および全学年の成績と単位修得証明書が必要である。

六、願書の受付期間と試験の日程

電気工事士試験は都道府県の事情によって異なっているが、愛知県では大体三月下旬に願書受付を行い、筆記試験は五月、技能試験は七月中下旬に行っている。

本校に於いても今年度、希望者を募り、東海電気工事会社より出向して、実施指導して戴いている永井先生のお骨折りにより、多数合格しています。

電気工事士合格者

E3A稲吉正也、岩津　悟　岡田武春、河合克昌、亀山和利、戸田秀樹、新美　均

E3B稲葉昭彦、太田憲良　平沢秀章、森　薫、渡辺富男

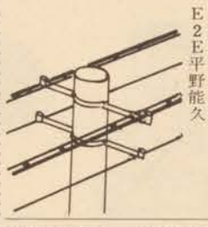
E3E酒井昭二、陣野昌浩

E3F伊東智彦

E3G杉浦　誠

E3J谷崎萬生

E2E平野能久



教育相談室開設

昭和五十三年度のはじめから教育相談室が開かれています。普通科館の二階、中央階段を上がった職員室の隣りの落ち着いた所にその部屋があります。

人の一生は変化の連続です。同じことがいつも繰り返すものではありません。毎日、毎時間が変化の連続です。そして、その一秒一秒が私達の大事な一生なのです。この変動する人間生活では同じことが繰り返さないのが普通です。この流動の特に激しいのが青少年の時期です。青少年期は希望の時期であると共に、苦悩の時期なのです。今までになかった多くの変化に出遭うたびに驚き、迷い、途方にくれることが多いのです。在校三年間にいろいろ悩みや迷いが起ります。心身の変化からくる疑問、進路についての悩み、家族間の問題からくる苦しみ、学校生活での諸問題（先生と生徒間との問題、生徒間、その他人間関係からくるトラブル、成績不振等……）数えきれない色々の問題点があると思います。こんな時に一度相談室へ来てみませんか。いつも満足できる解答を期待できるわけではありませんが、人の意見も時には参考になることがあると思います。相談室の開いている時は毎週（月―土曜日）登校時より下校時までいつでもよろしいが、殊に午後の来訪を歓迎します。問題は、今君たちが悩み、困っていること、何でも結構です。なお、相談内容は一切秘密を通しますので安心して来室して下さい。

教育相談室カウンセラー　斉木治生先生

（参考）教育相談の一例

四月〇〇日

G一年△△△△

入学後間もなく学校嫌いの状況を示し、四月末日現在欠席十日、遅刻数回を数えた。××日、母親同伴、本人と面接。両親とも大学卒業の学歴をもち、家庭円満、裕福で、兄は有名私学に在学中。知能指数も特に低くはなく、入学の喜びを強く感じ、将来に希望をもっているようであった。

動機としては、新入生歓迎会の日、同級生から飲物を買いにいくことを強要され、これに圧力を強く感じて通学を嫌うようになったと思われる。母親と同席して対話している間、この子は母親の過保護によるものと判断されるに到った。本人に質問すると、母親の顔を見ながら小声で応答する。いかにも自信なさげで弱々しい。母親は、我が子可愛さの気持ちを態度によく示している。きけば、祖母も在宅し、女中心の家庭内のムードを強く表わしている。すべてを親まかせにして、温室育ちに日々を過ごし、高校入学でこれに順応できず、登校拒否的行動をとったものと思われる。自立、自主的判断ができ、自分の行動に自信のもてる人間になるためには、過保護が邪魔をする一例だと思われる。この子は、関係の先生方の熱心な指導にもかかわらず、五月中旬退学となった。

シキシマパン
焼きたてのパン
ベイクショップ
合資会社 紅扇
名・千種区上野町5丁目39番地
☎711－4434

ヨギソのパン
ヨギソ製菓株式会社
名古屋市昭和区川名本町1の10
TEL (751) 2858 2859

CANADA DRY
CANADA DRY
名古屋市西区堀越町4丁目34番地
名古屋西営業所　TEL (052) 523－1306

健康の環を世界に
広げる森永乳業……
毎日牛乳を飲んで
立派な身体を作りましょう
森永牛乳　玉木販売所
千種区上野町五の六五
TEL (711) 2235

全国高校総体成績

個人フルーレ 優勝
個人サーブル 第三位
フェンシング部

M3C　堀　昌彦

第二十四回全国高等学校フェンシング選手権大会は、山形県寒河江市陵東中学校体育館に於いて、八月一日から五日まで開催された。

本校は、過去七回の学校対抗の優勝、個人フルーレ三回・個人エペ一回、個人サーブル二回の優勝の伝統を持ちつつも、昭和四十六年以降学校対抗に優勝することが遠くなった。かつて名電高のジャッジマーク及び腕章に誇りをもち、本校フェンサーも胸をはって各試合に対戦し、堂々たるものであった。こんなことから今年こそ……と。選手達、日夜猛練習を重ね、又OB諸兄の指導を仰ぎ、優勝の一事にすべてをかけたのですが、四回戦で破れ、数年来の四回戦の壁は破れなかった。そんな辛い胸中でも、機械科三年C組の堀昌彦君が、個人戦フルーレで優勝、サーブルでも第三位となり、一応面目を保ったわけです。

出場選手
M3C堀　昌彦(振甫中)
M3A丹羽健治(小牧中)
E3F橋本　弘(小牧中)
M3F藤原成幸(佐織中)
G3E山田　晃(七宝中)

●学校対抗
一回戦
不戦勝
二回戦
本校五対一別府商高
○丹羽—後藤
堀　—岡崎○
○橋本—安部
○丹羽—岡崎
○堀　—安部
○橋本—後藤
三回戦
本校五対○札幌第一高
○丹羽—真田
○堀　—三浦
○橋本—小林
○丹羽—三浦
○堀　—小林
四回戦
本校四対五秋田経大附高
○丹羽—金
堀　—殿村○
橋本—菅原○
丹羽—殿村○
○堀　—菅原
橋本—金　○
○丹羽—菅原
○堀　—金
橋本—殿村○
実に惜しい試合であった。

●個人フルーレ
M3A丹羽健治
一回戦プール　二勝一敗
(突数一本の差で失格)
M3C堀　昌彦
一回戦プール　二勝○敗
二回戦プール　二勝一敗
三回戦プール　二勝一敗
四回戦プール　二勝○敗
(突数率により決勝戦へ)
決勝戦プール　四勝一敗
(同率により決定戦へ)
優勝決定戦　五勝四敗により優勝

●個人エペ
E3F橋本　弘
一回戦プール　一勝一敗
(突数率により二回戦へ)
二回戦プール　○勝二敗
(失格)

●個人サーブル
M3C堀　昌彦
一回戦プール　二勝一敗
二回戦プール　二勝一敗
(突数率により三回戦へ)
三回戦プール　二勝一敗
決勝戦プール　三勝二敗
により第三位

この秋に開催された第三十三回国民体育大会秋季大会の東海地区予選会は、八月二十七日に本校愛和会館で行われた。

本校出場選手
M3C堀　昌彦(振甫中)
M3A丹羽健治(小牧中)
E3F藤原成幸(佐織中)

●東海四県代表リーグ戦
対三重県　九勝○敗
対岐阜県　七勝二敗
対静岡県　八勝一敗
勝ち点3で第一位により東海地区代表として参加。本年度、高校生最後の試合であるだけに、悔いのない試合に臨みたいと思い監督・選手一つとなって、猛練習に励んでいます。

県大会総合優勝
陸上競技部

第三十一回全国高校総合体育大会陸上競技対抗選手権大会は、八月二日から五日までの四日間、福島市信夫ケ丘陸上競技場で行われ、本校からG3D小田貴史(形原中)、G2E住田俊也君(稲沢中)の両名は円盤投に出場、またG2F有田哲治(祖父江中)は五千Mに出場したが、三名共に初出場の為め日頃の力が発揮できず、予選失格してしまった。

◎インターハイ全国大会(福島)
円盤投　小田貴史43M52
円盤投2位住田俊也36M94
五千M有田哲治15分37秒8

◎インターハイ東海大会(瑞穂)
円盤投1位小田貴史43M96
円盤投2位住田俊也43M58
五千M1位有田哲治15分06秒9

◎インターハイ愛知県大会(瑞穂)
総合第1位72点
千五百M1位有田哲治4分05秒9
五千M1位有田哲治15分16秒8
五千M3位R2A重　幸男
(神沢中)15分52秒8
四百Mハードル2位G2E中村敏郎(猿投台中)55秒6
四百Mリレー2位G3E加藤美広(稲沢中)、E2D佐々木竹男(蒲郡中)、中村敏郎、E2E今泉洋一(鶴城中)43秒4
千六百Mリレー1位M3C伊藤繁光(八幡中)、加藤美広、G3C松本恭典(丹陽中)、中村敏郎3分27秒8
砲丸投1位M3B伊藤　弘(白山中)13M87
砲丸投3位住田俊也13M37
円盤投1位小田貴史43M04
円盤投2位住田俊也41M82

◎インターハイ名古屋北支部大会(瑞穂)
総合第1位[illegible]点
二百M1位加藤美広23秒3
八百M2位E1G中村勝志(猿投台中)2分05秒5
千五百M1位有田哲治4分10秒9
千五百M3位重　幸男4分19秒2
千五百M1位有田哲治15分12秒7(大会新)
五千M2位重　幸男15分35秒4
五千M3位M2C堀田靖弘(木曽川中)15分40秒9
四百Mハードル1位中村敏郎59秒1
千五百M障害2位E2H国立幸伸(尾西第二中)4分45秒4
千五百M障害3位M3D坂本昇(富田中)4分45秒6
四百Mリレー1位加藤美広、佐々木竹男、中村敏郎、今泉洋一43秒9
千六百Mリレー1位伊藤繁光、加藤美広、松本恭典、中村敏郎3分32秒3
五種競技2位伊藤繁光2877点
走巾跳2位中村敏郎6M68
砲丸投1位小田貴史13M54
砲丸投2位伊藤　弘13M34
砲丸投3位住田俊也12M38
円盤投1位小田貴史42M70
円盤投2位住田俊也40M66
円盤投3位G1A宮嶋幸男(香山中)36M42
ハンマー投1位小田貴史42M52
ハンマー投2位伊藤　弘40M92
ハンマー投3位住田俊也40M58
槍投3位M3D林　秀樹(東浦中)45M24

◎愛知県選抜ナイター大会(トヨタ)
千五百M1位有田哲治4分01秒3
五千M1位有田哲治15分03秒6
五千M2位堀田靖弘15分18秒0
五千M3位重　幸男15分30秒0
四百Mハードル2位中村敏郎54秒7
円盤投1位小田貴史43M62
円盤投2位住田俊也42M86

◎市民スポーツ祭(瑞穂)
百M3位加藤美広12秒0
千五百M1位有田哲治4分11秒2(大会新)
四百Mリレー2位M1C福島　洋(富木島中)、佐々木竹男、中村敏郎、今泉洋一44秒6
走巾跳3位伊藤繁光6M61
砲丸投1位伊藤　弘14M59

◎一年生大会(瑞穂)
四百M2位E1D水谷栄二(安城南中)55秒4
三千M2位E1F鈴村義明(朝日丘中)9分47秒0
砲丸投3位E1A山下弘幸(朝日丘中)12M62
円盤投1位中嶋幸男38M92

◎国体選考会(瑞穂)
四百M2位中村敏郎50秒8
五千M1位有田哲治15分21秒0
走巾跳2位福島　洋6M34
砲丸投2位山下弘幸13M06
砲丸投3位宮嶋幸男12M72
円盤投1位小田貴史43M58
円盤投2位山下弘幸40M24
円盤投3位住田俊也39M94

◎私学祭(瑞穂)
百M1位佐々木竹男11秒2
四百M2位加藤美広53秒0
四百M3位松本恭典55秒0
八百M1位有田哲治2分01秒4
五千M2位重　幸男15分43秒4
百十Mハードル2位中村敏郎15秒6
四百Mリレー2位福島　洋
佐々木竹男、中村敏郎、
今泉洋一44秒8
千六百Mリレー2位伊藤繁光、加藤美広、松本恭典
中村敏郎3分29秒6
走巾跳2位伊藤繁光6M55
砲丸投1位小田貴史13M97
砲丸投2位伊藤　弘13M96
円盤投1位宮嶋幸男42M98
円盤投2位小田貴史42M46
槍投3位林　秀樹47M50

◎四支部対抗大会(瑞穂)
四百M2位中村敏郎52秒5
千五百M1位有田哲治4分05秒6

準々決勝進出
馬術部

第十二回全日本高等学校馬術大会は、愛知県森林公園において開催された。貸与馬による試合のため、馬を五十頭余り用意しなければならず、その担当者は相当苦労されたようだ。全国から六十五校の選手が集まり、熱戦が繰りひろげられた。本校は、一回戦から三回戦まで全くミスがなく、出場した選手はすべて減点ゼロで相手校を退け、念願のベスト8入りを果たした。準々決勝では、相手校が優勝候補であることから、選手が緊張してしまい、完敗した。来年こそ、ベスト8の壁を破るため練習に励んでおります。出場選手は、
M3A後藤達也(尾張旭中)
M3D藤浪修也(八幡中)
M2A加藤茂樹(瀬戸南山中)
E2F渡辺昌則(木曽川中)

一回戦　群馬女子短大附属高校　大分三重農業高校
二回戦　関西学院高校
三回戦　和気閑谷高校
準々決勝　和気閑谷高校
優勝　菊池農業高校
二位　名古屋学院高校
三位　名古屋学院高校

愛知県大会優勝
バドミントン部

我が名電高バドミントン部は、部員三〇名、日頃の厳しい練習のかいあり、三年ぶりに全国高校総体に団体出場(個人は毎年出場)を果たしました。バドミントン発祥の地はインドで、イギリスのバドミントン村で発達し、全世界に広まったスポーツです。競技のシャトルコックのスピードは、スマッシュ時に150kmを越えることがあり、スピードの緩急が大きく、非常に難しいスポーツですので、練習も一段と厳しくなります。夏は、館内気温が四〇度を越える日もしばしばで、よって強い体力と精神が必要になります。本年度は、緑深い歴史の街、白虎隊の鶴ケ城で有名な福岡県会津若松で、八月三日より八日まで、全国津々浦々から激しい予選を勝ち抜いた四十八校の選手が参加しました。本校部員も母校の名誉をになって、正々堂々と戦いましたが、惜しくも一回戦で敗れ、全員涙にくれましたが、新たな気持ちで以後の個人戦出場者に拍手を送った。

◎出場選手
E3B林　久男(甚目寺中)
E3E藤原成仁(佐織中)
E3J浅見逸輝(大曽根中)
R3B大村大祐(甚目寺中)
G3A水野　厚(南山中)
R2A西川正宏(青海中)
E2B村田理世士(蒲郡中)

◎成績
団体戦
一回戦
本校0対3三田学園(兵庫)
個人戦ダブルス
一回戦　不戦勝
二回戦
林・藤原 2対1 中島・群馬 / 須田・桐生商
三回戦
林・藤原 0対2 佐藤・秋田経 / 越後・附高
個人戦シングルス
一回戦
藤原2対0西宮(石岡一高)—茨城
林　不戦勝
二回戦
藤原2対0西岡(土佐高)—高知
林　0対2加瀬(瓊浦高)—長崎
三回戦
藤原0対2高崎(高岡一高)—富山
以上の結果から一・二年生は本年にも増して厳しい練習をしなければ他県には通用しないことがわかり、以後一生懸命、心身共にバドミントンに打ちこんでいます。

◎愛知県予選
団体戦
一回戦　不戦勝
二回戦
本校3対0豊川工高
三回戦
本校3対0豊明高
決勝
本校3対1時習館高
個人戦ダブルス
村田・深谷 一回戦敗退
中野・本山 二回戦敗退
水野・大村 三回戦敗退
浅見・西川 第四位
林・藤原 優勝
個人戦シングルス
一回戦
大村2対0末永(豊明高)
藤原2対0高橋(丹羽高)
林　不戦勝
二回戦
大村1対2川崎(時習館)
藤原2対0石崎(豊明高)
林　2対0鈴木(豊川高)
三回戦
藤原2対0石井(東海高)
林　2対0加賀(丹羽高)
準決勝
藤原2対0川崎(時習館)
林　2対1竹本(時習館)
決勝
林　2対0藤原

熱の入ったバドミントン練習風景

新体制でのぞむ
秋季県大会
野球部

部長　野牧　一雄先生

監督　中村　豪先生

前鈴木野球部長・監督は、過去十三年間にわたり野球部の育成に当り、その間甲子園出場三度に及ぶ活躍をされましたが、この度、一身上の都合により勇退されました。新部長には、教務主任野牧一雄先生が就任されました。さぞエネルギッシュな活躍が期待されることでしょう。また、新監督として迎える中村豪先生は、社会科の先生を兼ね、野球部監督として就任されました。先生は、昭和三十六年度の本校の卒業生で、野球部の大先輩でもあり、野球に関しては、小学校時代より投手として名古屋市大会に出場し、中学校時代にも投手として名古屋市大会に優勝し、高校時代にもまた、本校の投手として活躍され、卒業と同時に愛知マツダ株式会社へ入社して、社会人野球で活躍されました。一年後愛知学院大学に入学、投手兼一塁手として、昭和三十九年度愛知大学野球秋季リーグ戦において優勝に貢献され、卒業時には主将として大いに活躍されました。そして、卒業と同時に社会人野球の雄である電々公社へ入社、一塁手として活躍されました。その後は、スポーツマッサージトレーナーとして、研修に従事されました。先生は幼少より野球一筋に活躍されたので、今後のより一層の活躍を期待してやみません。

新監督の抱負
攻守にバランスの取れた粘り強い、逆境にも打ち勝つ力強いチームを編成し、日夜部員に率先し練習に練習を重ね、苦楽を共にして晴れて甲子園に出場し、優勝の栄冠を目ざして邁進する覚悟です。

新チームメンバー
E2D土川浩二(萩原中)
E2C山下貴志(竜神中)
G2C加藤久幸(名南中)
E2F大矢義之(南部中)
E2C磯部　徳(富士松中)
G2C都築　秀(鶴城中)
G2C戸田幸男(御津中)
G2A大村慶一(名南中)
G2F鴻野淳基(大曽根中)
E2E筧　勇(尾西第二中)
G1A土井英俊(甚目寺中)
G1D浜名　稔(久方中)
M1B稲垣静男(矢作中)
G1B宇野行雄(葵中)
G1A原口嘉弘(知立中)
G1A鈴木伸和(二川中)
G1B浅倉隆志(安城北中)

◎名古屋地区予選第一次リーグ(8/18～8/24 於菊里高校)
名電高10～1向陽高(七回コールド)
名電高15～1菊里高(六回コールド)
名電高17～1愛知工高(七回コールド)
名電高5～2守山高　四勝○敗　ゾーン優勝

◎名古屋地区予選第二次リーグ(8/27～8/30 於松蔭高校)
名電高14～0同朋高(五回コールド)
名電高1～4旭丘高(五回コールド)
名電高1～6松蔭高　一勝二敗

◎二位決定戦
名電高8～0同朋高(七回コールド)
名電高3～0松蔭高　二勝○敗　県大会へ

◎第三十一回県高校野球選手権大会
名電高5～3刈谷高
名電高10～2半田工高(七回コールド)
名電高8～1一宮高(七回コールド)
三勝○敗決勝リーグへ

◎四強リーグ戦
名電高10対3愛知高(八回コールド)
名電高8対11中京高
名電高7対0福江高(七回コールド)
二勝一敗(名電・愛知・中京)同率にて再リーグ戦

◎再リーグ戦
名電高6対7愛知高
名電高6対0中京高
愛知高2対4中京高
三校一勝一敗同率にて再々リーグ戦

◎再々リーグ戦
名電高2対3愛知高
名電高10対5中京高
愛知高5対4中京高
一勝一敗にて第二位、中部大会出場権を得る。

◎第三十一回秋季高校野球中部地区大会(於松阪球場)
名電高0対6静岡商高

甲子園を目指し練習する野球部員

ダブルス第六位
卓球部

第四十七回全国高等学校卓球選手権大会は、昭和五十三年八月一日から六日まで、山形県新庄市民体育館に於いて開催されました。出場選手は
E3G井上　孝(鬼崎中)
E3F足立光生(鬼崎中)
G2F天川直美(群馬新里中)
G2E長崎静男(尾西第三中)
G1B谷田好陽(兵庫東浦中)
G2E馬場　寧(守山東中)
G1F増田　朗(新潟本丸中)
R2B谷川徳泰(鬼崎中)

●学校対抗
一回戦
本校四対二大濠高(福岡)
二回戦
本校四対一北陸高(福井)
三回戦
本校二対四三本木高(青森)
井上 0(11—21, 19—21) 2 糠塚
足立 2 若沢

●ダブルス
一回戦
井上 2(21—11, 21—16) 1 桜井
足立 0(18—21, 11—21) 2 若沢
天川 0(15—21, 10—21) 2 糠塚
井上 2(21—19, 21—15) 0 高坂
長崎 0(13—21, 17—21) 2 佐々木
天川 —— 桜井
足立 2 石井・広島
谷田 2 石塚(呉港高)
馬場 1対2谷口(香川新庄高)
二回戦
井上 2対○田村(宮崎)
足立 2対○日高(宮崎工高)
三回戦
井上 2対○山本(徳島)
足立 2対○小浜(鳴門工高)
四回戦　ランク決定戦
井上 2(21—11, 21—11) 1 青浦(福岡)
足立 2(21—17, 21—16) 1 高田(東福岡高)
五回戦
井上 0(16—21, 15—21) 2 糠塚(青森)
足立 2 若沢(三本木高)
ランキング第六位

●シングルス
一回戦
天川○対二樋口(東京)—攻玉社高
足立二対○山守(石川・泉丘金沢高)
井上一対二新居(徳島)—川島高
長崎○対二香川(千葉)—船橋高
二回戦
足立二対一宮木(京都)—東山高
足立 0(15—21, 15—21) 2 山崎(神奈川)—相夫附高
(後記)
全体的に力不足でしたが、学校対抗は善戦でした。

健闘及ばず
自転車競技部

全国高校総合体育大会自転車競技会は、八月二日から五日、福島県平市の平競輪場と棚倉市において開催された。

平競輪場のバンクは、柔らかいうえに、台風の影響により、非常に危い場所であった。我が、名電高自転車競技部のピスト競技と四千M団体追抜きは、全力を尽くしたにもかかわらず敗れた。残るは、八月五日のロードレースだけだ。皆かなり気落ちしていた。ロードレースといえば108kmを一チーム三人で、そのうち二人目の完走者のタイムで順位が決定する。なんと腹のへる競技であろう。前日の夕食は、スタミナのつくものを食べ、翌朝四時半に起床、軽く朝食をとり、ロードレース開会式に向かった。このレースは、あるチームがスタートした一分後次のチームがスタートするという展開で、本校は三十七番目のスタートであった。強豪東海第一高の選手が「六人でいっしょに行こう」といいながら、先生の言葉「途中で転倒して失格してもかまわない」を思い起こし、初めから全力で走った。12チームを追い抜き、我々より後からスタートしたチームには追いつかれなかった。記録はまだわからない。十位入賞はできたと思った。閉会式で十位と発表され、ライバル中京高はピスト競技六位(イタリアンレース)一点を獲得、我が校もなんとか一点をと……最悪のケースはまぬがれ、ほっと一息であった。帰りの道のり目は豪雨であった。

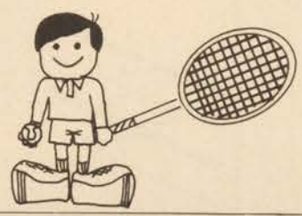
ダブルス制す
庭球部

記録的な猛暑の中、今年は山形・福島を中心に全国高校総合体育大会が開かれ、我々テニス部からも四年連続して、この大会に出場できたことが何よりの成果と考えております。これも一重に、皆さんの援助があってのことと感謝しております。

テニスは、昔から紳士のスポーツとして、表面的には優雅な感じがし、荒っぽさもなく女性的とうら考えられますが、しかし、その内面は他のいかなるスポーツにも劣ることのない厳しさがあり、深みのあるスポーツであると常々考えております。

最近、テニスの人気が高まり、テニス人口も増し、入部者も増えましたが、硬式庭球の経験者は無く、その中での全国大会出場は非常に困難となってきました。残された手段はただ練習あるのみ。毎日の地味な鍛練がやがては報いられる事を信じて、精進しております。

成績
●愛知県私学祭　三ケ年連続優勝
●市民スポーツ祭　四ケ年連続優勝
●インターハイ出場
G3E小久保貴造(豊岡中)
●全日本ジュニア庭球出場
G3E小久保貴造(豊岡中)
●愛知県総合体育大会第三位
G3E小久保貴造(豊岡中)
●愛知県年齢別トーナメント大会
シングルス準優勝
G3E小久保貴造(豊岡中)
ダブルス優勝
E3E小沢　隆(武豊中)
G3F小久保貴造(豊岡中)



上位入賞逃す
重量挙部

本年度全国高校総体ウェイトリフティング競技大会は、山伏の羽黒山・米の庄内平野に囲まれた静かな町、山形県鶴岡市の鶴岡工業高校で行われました。例年になく暑い夏の盛り、気温四〇・九度という日本記録を持つ山形県において、我がウェイトリフティング部六名は、滝のように流れる汗をぬぐいながら、一生懸命頑張りました。

第一日目の52kg級の試合には出場選手がなく、試合にのまれないようにと見学をした。第二日目午前の部56kg級に二人の選手を送りました。M3D橋本浩之君(春日井中部中)は、スナッチ75kg、ジャーク100kg、トータル175kgにとどまり、同選手の力を出せずに終わってしまった。また、E2D西田史郎君(日進中)は、スナッチ85kg、ジャーク105kg、トータル190kgとまとめ、個人では六位入賞、団体では第三位にくい込みました。続く午後の部60kg級には、E2E宮本尚美君(猪高中)とE2H小池幸泰君(日進中)が出場しました。まず小池君はスナッチ85kgと順調なスタートでしたが、ジャーク90kgとふるわず、トータル175kgに終わりました。そして宮本君もスナッチ90kgと快調でしたが、ジャーク105kg、トータル195kgに終わった。第三日目午後の部、70kg級の試合で、E3E佐藤至宏君(祖父江中)は、スナッチ92.5kg、ジャーク117.5kgをおさえましたが、おしくも判定で赤ランプが二つつき、110kgにとどまり、トータル205kgに終わり入賞をのがしてしまいました。そして、試合はクライマックス第四日目、82.5kg級の試合に、E3C森孝治君(祖父江中)は、スナッチ102.5kgをおさえ種目別第三位に輝きましたが、ジャークで失敗して入賞することができませんでした。

成績
E3E佐藤至宏
個人10位、団体8位
E3D森　孝治
スナッチ種目別第3位
E2D西田史郎
個人6位、団体3位
E2E宮本尚美
個人9位、団体9位
本年は、団体8位内入賞を目指していましたが、もう一歩で入賞をのがし、10位に終りました。しかし、個人的には、自己新などを出し入賞するなどで、まあまあの成績ではなかったかと思います。そして、すでに一・二年生は、来年度インターハイを目指して、一生懸命トレーニングに励んでおります。

「宇宙博」について

私、この夏行ってまいりました。面白かったですよ。一言いうならネ。でも、あまり広くないでしょ、会場。だから、半日もあれば全部みてこられるわけネ。中にあるものだって殆んど予想ついてたし、でも四号館(畳五百枚分に相当する大スクリーンのある館)は、今でも心に残ってるネ。

編集後記

●新聞部顧問が交替し、編集に手まどい、発行が遅れてしまいました。まことに申し訳ありません。
●新聞部員募集中
一年生の入部を求む!!

カラープリント
当店のカラープリントは各メーカー現像所仕上げの
一級品で、なんと 35円 より各種
写真は10年～20年後の宝です
カメラ、8ミリ ズバリ 卸値(特定品を除く)
証明用各種撮影・スピード写真も有ります
若水カメラ 名電高前 ☎(711)1869

キハラ製図器
三角定規
曲線定規
T型定規
その他製図用具一式
コクヨノート一式
名古屋電気高等学校御指定
大附通商株式会社

名古屋牛乳
有限会社 内藤乳業
名古屋市東区大幸町5の46
TEL 代表 (711)2848

辞書・参考書の専門店

名古屋電気学園指定書店 正友館書店
千種区鏡池通2－13　城山中学校南
TEL (751) 2717